

調布市立第一小学校 体育館



外観

「調布市立第一小学校」は、2020(令和2)年に創立120周年を迎えた歴史と伝統ある小学校。維持保全計画に則り、体育館の改修を実施。校庭の1/5を仮設資材置場とし、学校運営しながら約半年間の工事が行われた。



内観

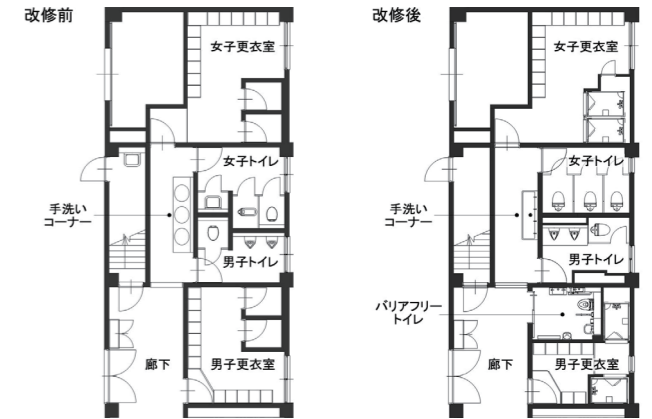
災害拠点の役割も担う体育館には、ガス供給により発電し、停電時でも使用できる電源自立型空調を導入。照明は、避難所利用時に常夜灯としての機能を持つ調光仕様としている。



手洗いコーナー

通路に面して設置している手洗いコーナー。水栓金具は衛生面に配慮し、非接触で手洗いができる自動水栓(発電タイプ)を採用している。

トイレ図面



水まわりの特長

改修の経緯

東京・多摩地区に位置する「調布市立第一小学校」は、2020(令和2)年に創立120周年を迎えた歴史と伝統ある小学校。市の維持保全計画に則り、災害拠点となる施設として、防災機能強化を図る体育館の改修を実施。空調機はガス供給により発電する電源自立型空調を導入。照明は避難所利用時に常夜灯としての機能を持つ調光仕様とした。またトイレはバリアフリートイレを新設するなど、平常時の快適性はもちろんのこと、有事を見据えた環境整備が実施された。また調布市では、東日本大震災を教訓として命の尊さについて学び、自らの命は自らが守るという意識を高めるため、毎年4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」と定め、学校と保護者、地域住民が一体となって防災訓練を市立小中学校一斉に実施している。

水まわりの特長

災害時の防災拠点となり、さらに市民への開放利用もされる体育館として、このたびのトイレ改修では、大便器をすべて洋式化しウォシュレットを設置。女子トイレは、和式・洋式で2ブースだった女子トイレは、改修により全洋式3ブースへと増設。児童をはじめ地域の方などさまざまな利用者を想定し、すべてに洋式便器とウォシュレットを設置。使いやすさと快適性に配慮している。



女子トイレ

和式と洋式で2ブースだった女子トイレは、改修により全洋式3ブースへと増設。児童をはじめ地域の方などさまざまな利用者を想定し、すべてに洋式便器とウォシュレットを設置。使いやすさと快適性に配慮している。



男子トイレ

小便器は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を設置。足元には尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアPUを採用している。



男子トイレ

男女トイレともに、便座はウォシュレットPSを採用。リモコンはボタンを押すたびに発電し電源不要のエコリモコンを設置。「トイレの音を聞かれない」という使用者に配慮して擬音装置付きタイプを選定している。



バリアフリートイレ

これまで体育館にはなかったバリアフリートイレを新設。さまざまな利用者に対応したスペースを確保し、車いす利用者やオストメイトに必要な器具がパッケージされたコンパクトバリアフリートイレバックを設置。



バリアフリートイレ

防災拠点として使用されることや、学校行事で来校される保護者や地域の方への開放など、さまざまな利用者も想定してベビーチェアやベビーシートも設置。扉は開口が広く出入りのしやすい2枚引戸を採用している。



トイレサイン

各トイレ入口のサイン。バリアフリートイレのサインには、ピクトグラムに「優先利用にご協力ください」の補助表示を併せて掲示している。

建築概要

名称	調布市立第一小学校 体育館
所在地	東京都調布市小島町1-8-1
施主	調布市
設計	株式会社 総合企画設計
施工	株式会社 ライフスタイル
竣工年月	(改修)2022年12月
建築面積	768.29㎡
延床面積	797.00㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上2階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式:CFS494MCHNS
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534
- ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPN
- 柵付二連紙巻器:YH701/自動洗浄小便器:UFS900WR
- ハイドロセラフロアPU:AB690系/台付自動水栓:TLE26502J
- コンパクトバリアフリートイレバック:UADAK21L1A1AND2WA
- ベビーシート:YKA25S/ベビーチェア:YKA15S